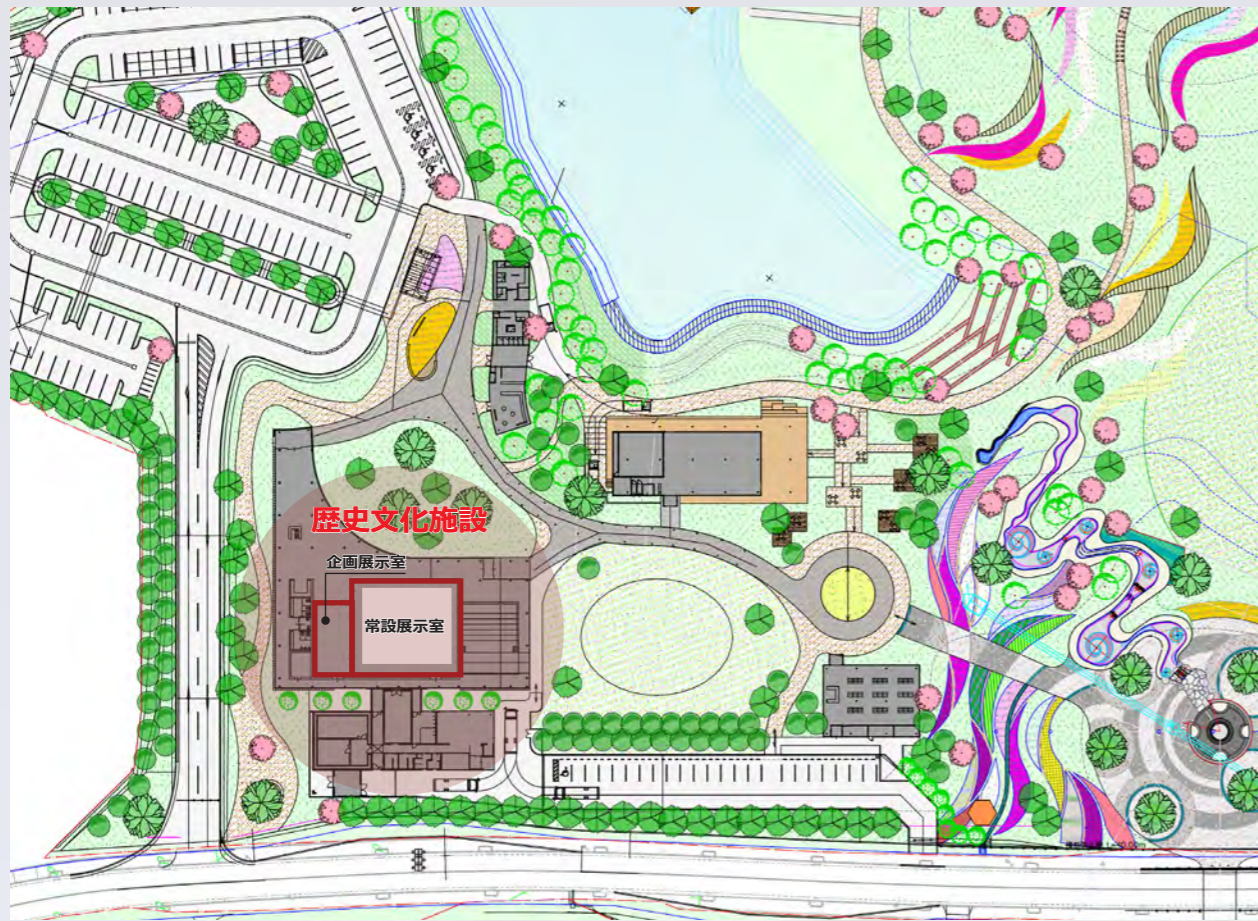


## 勝連城跡周辺文化観光施設ゾーンマップ

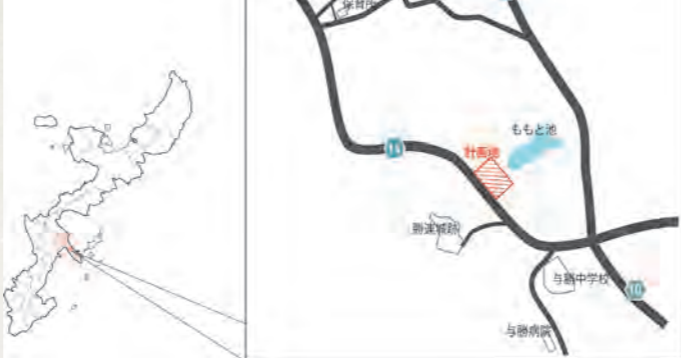


## 歴史文化施設開館スケジュール

	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度	2021年度 平成33年度
建築工程	実施設計	建築工事	建築工事	開 館
展示工程	実施設計	展示制作	展示制作	
管理運営		事業者選定	開館準備	

### 施設計画地

沖縄県うるま市  
勝連南風原



## 問い合わせ先

うるま市 都市建設部 勝連城跡周辺整備室

〒904-2292

沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号

TEL : 098-923-7606 FAX : 098-923-7642

# 勝連城跡周辺文化観光施設

## 展示基本設計 (概要版)

### 【はじめに】

うるま市では、平成12年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、ユネスコの世界遺産に登録された勝連城跡及びその周辺地域一帯において、文化・観光の振興をとおして地域活性化等に資する複合的な機能を集約させた拠点ゾーンの創出をめざし、整備・活用の検討を進めています。

平成27年度には、「勝連城跡周辺文化観光施設」として基本方針である基本構想、平成28年度には基本計画を策定し、この施設を世界遺産・勝連城跡のガイダンスセンターとして機能する「歴史文化施設」と市内への観光客の回遊促進拠点である「物産観光施設」に分けて、段階的に整備していくことをまとめました。

平成29年度には、「歴史文化施設」の展示基本設計を行いました。本資料はその設計内容の概要を示すものです。

### 【展示の方針】

#### 勝連城跡の魅力の発信と来訪動機の創出

- 当施設の展示は、来訪の「目的」であるとともに「きっかけ」となることを重視する。
- 訪れる人々の多くが観光客であることから、勝連城跡や阿麻和利に関する基本的な情報を、ストーリーとしての紹介やエンターテインメント性を表現する展示とし、わかりやすさやインパクトを重視することで「行ってみたい」という動機を創出する。

#### 未来への継承となるひとづくり

- 当市において展開されている個性溢れる次世代教育のテーマである「肝高」の象徴である阿麻和利と勝連城の歴史を今一度紐解き、市民の参画を得ながら世に発信していくことで、市民の地域に対する愛情や誇りのさらなる醸成、今に伝わる価値の再評価につなげ、「ひとづくり」の持続的な活動に寄与することを重視する。

#### 展示のコンセプト

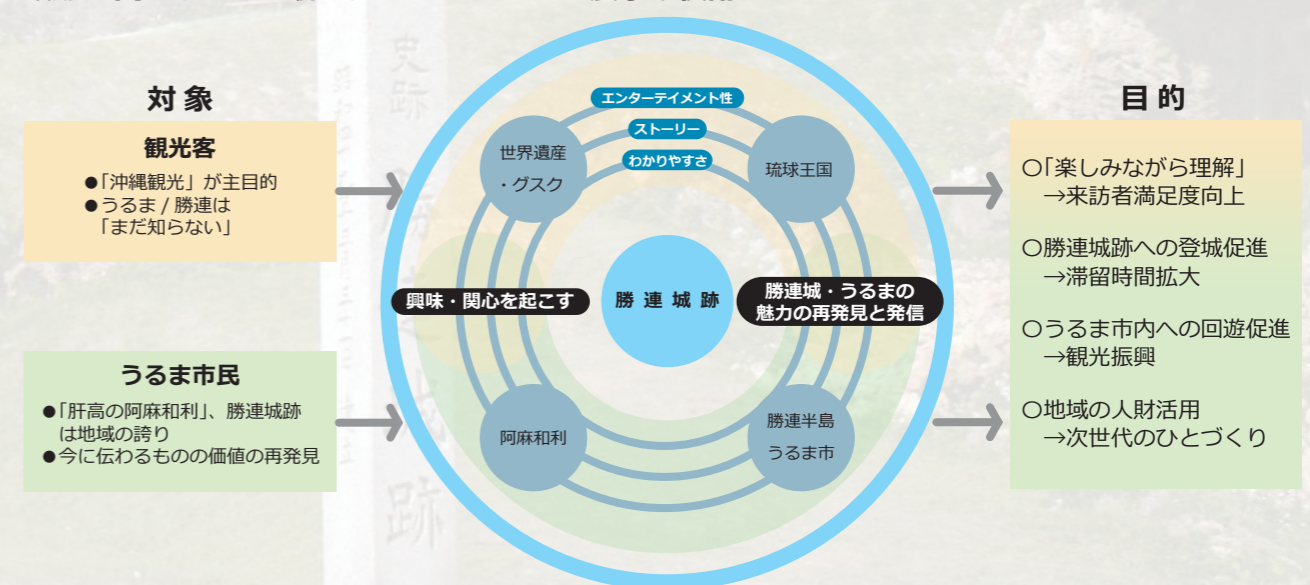
##### ●誘う力のあるストーリー

「知る」の前にある「知りたい」  
気持ちを揺り動かす

##### ●美しい、体感空間

見て、感じて、楽しんで、  
「理解する」につなげる

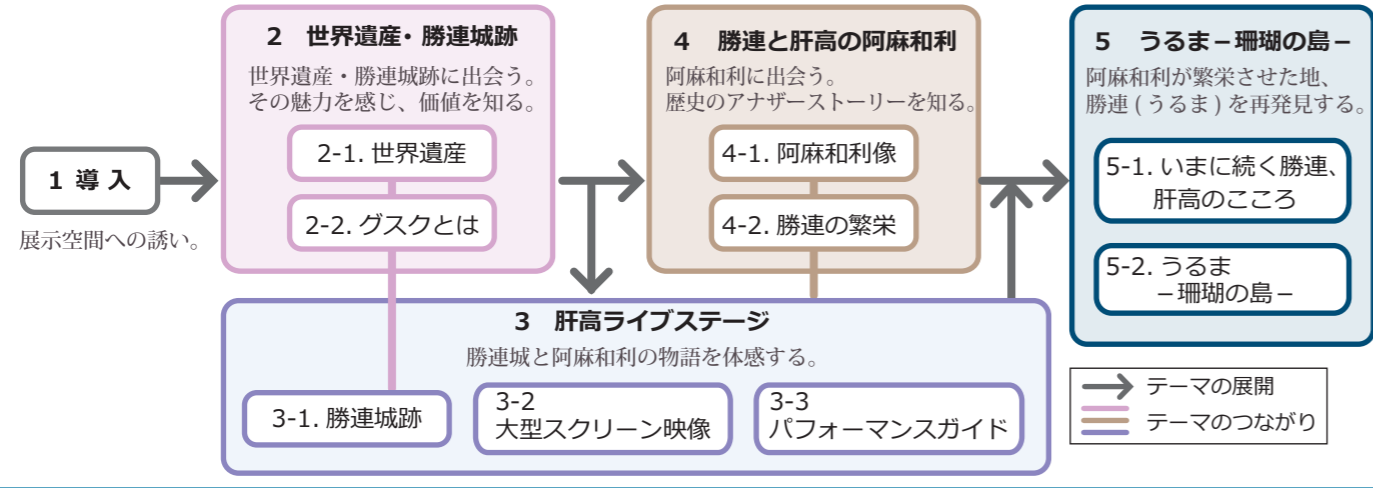
#### 展示の役割



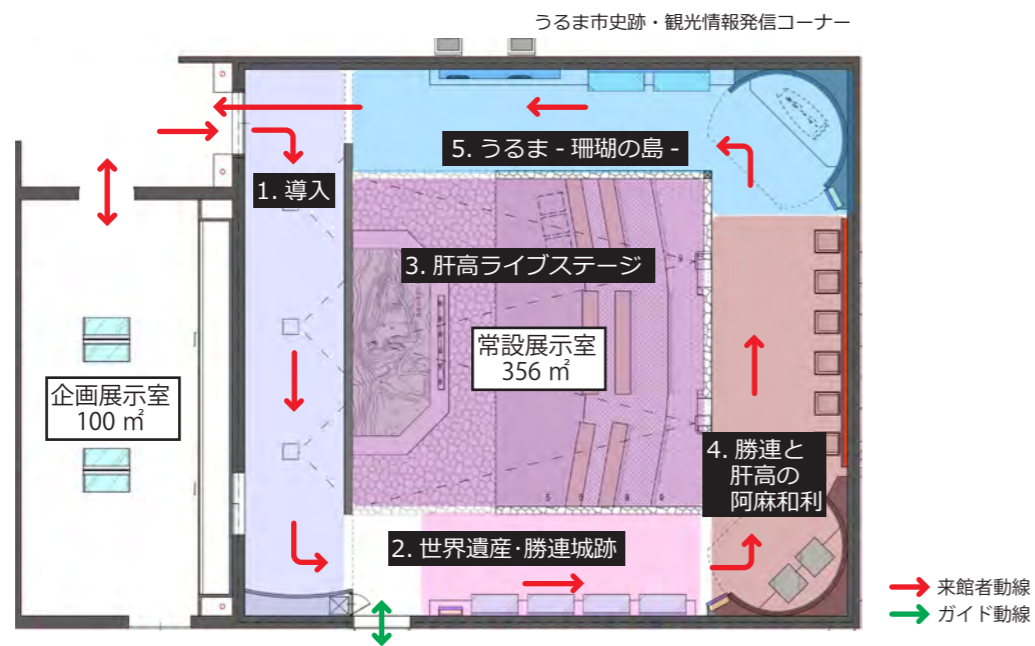
# 勝連城と阿麻和利の物語をドラマティックに。 ミュージアムとライブステージが融合した、あたらしいガイド展示を実現します。

劇場のようなライブステージで物語をエンターテインメント性豊かに演じながら伝えるパフォーマンスガイドと、美しくダイナミックな勝連城跡の映像、そして勝連城跡から出土した貴重な資料で織りなす体感型のガイド展示です。楽しみながらあらたな発見や、より深い理解につなげていきます。

## ■展示シナリオ



## ■展示室構成



### ① 導入部



イメージグラフィックに「おもしろさうし」の歌を映像でマッピングし、動きのある演出を行う。

### ② 周辺展示



周辺展示では、実物資料や模型などで勝連城と阿麻和利などについてより理解を深めることができる展開とする。

### ③ 肝高ライブステージ



大型スクリーンやパフォーマンスガイドと一体的な展示プログラムを整え、楽しみながら勝連城跡、勝連、阿麻和利の物語を理解できるようにする。

### ④ 企画展示室



ウォールケースと中央の覗きケースで、様々な企画展の開催に対応する。